

Column

シリーズ・
障がい者と働き方

ともに、
はたらく。

障がいのある生徒に専門技能を指導

▼東京都立永福学園（東京都杉並区）

障害特性に合わせて 生徒たちの能力を伸ばす

永福学園では、ビルクリーニン
グコースの授業で次の点に留意し
指導を行う。こうした工夫は、障
がい者雇用に取り組む企業にとっ
ても大いに参考になりそうだ。

① わかりやすい見本を提示する

教員や指導員が実際に作業し
てみせるだけでなく、マニユア
ルなどで説明を行う。作業の手
順や目標を文字などで示すこと
で、生徒の理解度が深まる。

② 繰り返し練習する

技術を身につけるために、粘
り強く何回も練習できる機会を
与える。その際、徐々に支援を
減らして最終的に独力で作業を

行えるよう指導する。

③ 練習に飽きないよう工夫する

人によっては繰り返し作業が
苦手な生徒もいるので、集中力
が途切れないよう短時間で学習
したり、20分ごとに場所を変え
たりといった工夫をする。

④ 各人の特性に合わせて支援する

障害特性に配慮することも重
要。前述とは逆に、状況変化へ
の適応が苦手な生徒もいるので、
各人に合った指導を心がける。

⑤ 成果・作業量を可視化する

清掃作業は成果が目に見えにく
い分野なので、作業工程や成果が
把握しやすいように、マグネット
シート（右写真）を用いて「終わっ
た作業」「まだやるべき作業」を
示すなどの工夫をする。



作業の手順・目標・成果を可視化する
ためのマグネットシート。やるべき作業
がひと目でわかる。